

## 総務文教常任委員会

平成25年2月14日(木)

### ◎ 開 議 の 宣 告 (午前10時00分)

○副委員長(山田 勇) ただいまから総務文教常任委員会の会議を開きます。

出席委員数、国本委員から欠席の旨の連絡がありましたので、出席委員は6名であります。

本日の所管事務調査は、行財政改革に関することのうち、平成23年度「伊達市行政改革2011」進捗状況報告についての以上1件であります。

それでは、平成23年度「伊達市行政改革2011」進捗状況報告についてを議題といたします。

この件につきまして説明を求めます。

○総務課長(椎名保彦) それでは、説明をさせていただきます。本日資料を2組提示をさせていただいておりますが、所管事務調査資料と記載をしている資料につきましてご説明をさせていただきます。

伊達市行政改革大綱2011に基づきます平成23年度実施計画の進捗状況でございますが、行革の実施計画につきましては全体で42項目ございますが、平成23年度においては当初計画から3件ほど計画変更となっております。後ほどこの件についてはご説明をいたしますが、1つ目は給食センターの建て替え及び運営方法の検討、2つ目はコミュニティセンター運営管理の見直し、3つ目は環境美化推進制度の検討でございます。

そして、実際の進捗状況でございますが、囲んでいる部分でございますけれども、実施済み事業につきましては7事業ございます。また、一部具体策を実施し継続中の事業は18事業で、計画・検討中の事業は14事業でございます。次ページに移りまして、その他が3事業の内訳となっております。

次に、事業別の進捗状況達成・着手率でございますが、各項目ごとに振り分けた達成、着手率は記載のとおりでございますが、全体の進捗状況で申し上げますと実施済み事業については17%となっており、一部対策を実施継続中と合わせますと60%となっております。

次に、取り組み状況でございますが、ページをめくっていただきたいと思っております。横判の表をごらんいただきたいと思っておりますが、別紙の実施計画進捗状況をまとめたものでございます。それで、その中で特徴的なものを説明をさせていただきたいと思っております。まず、1の質の高い行政経営の推進でございますけれども、(1)、効果的・効率的な事務事業の推進のうち②の公用車両の効率的な運用でございます。いわゆる市の公用車を総務課において管理する集中管理車へふやしていく方向にいたしますが、業務の関係上各課で管理している公用車もございます。それで、これからは公用車の運行上の一括管理を総務課で行っていくように検討してまいります。また、公用車の更新においてはハイブリッド車や軽自動車に対応しております。

次に、同じく1の(1)の③、文書管理の適正化でございますが、文書管理、特に廃棄処分が主立ってまいりますけれども、毎年6月に集中整理期間として実施しておりますが、文書の保存年限

の徹底を図りまして整理をしております。また、公文書のデジタル化につきましては実態として進んでおりませんが、取り組みを行っております先進自治体の実情を参考として研究を行っております。

次に、1の(2)、行政サービスの向上の③、地域イントラネット基盤整備事業連携システムの整備及びサービスの向上と関連してまいりますけれども、⑦の公共図書館システムの導入でございますが、記載の各システムにつきましては既に運用が始まっているものやこれから協議するものがございますが、十分な運用がなされていない状況もございます。それで、これにつきましては西いぶり広域電算の構成団体と協議をしなければなりませんけれども、これを阻害している原因を分析いたしまして100%に近い運用に向けて検討してまいりたいというふうに考えております。

次に、1の(3)、民間委託等の推進の⑥、給食センターの建て替え及び運営方法の検討でございますが、これは先ほど説明したとおり計画を変更しております。実施年度を平成24年度から27年度に延ばしました。理由といたしましては、学校給食以外の配食サービスの検討や建物の建設場所、整備内容等を検討する時間が必要なことから実施年度を変更いたしました。

次に、次ページに移りまして2の市民参画と協働の推進の③、コミュニティセンター運営管理でございますが、これも計画変更をしております。実施年度を平成24年度から26年度に延ばしました。理由といたしましては、各コミセンの管理人の常駐時間を統一いたしましたが、各コミセンの人件費の考え方や、それからより効率的な館の管理方法の検討のため実施年度を変更いたしました。

次に、同じく2の⑤、環境美化推進員制度の検討でございますが、これも計画変更いたしております。実施年度を平成24年度から25年度に延ばしております。理由といたしましては、この制度が全ての自治会にまだ浸透していない状況でございますので、説明会で時間を要したいという理由でございます。

次に、3、健全な財政運営の推進の⑦、特別職等の報酬の見直しでございますが、計画当初は特に行政委員の月額報酬や日額報酬について議論となりましたが、裁判で合法となったことや現在特別職の独自削減が実施中という状況から進捗状況を実施済みと整理させていただきました。

最後に、4、組織の適正化と人材育成の①、機能的な組織・機構の検討と②の職員の人材育成の推進については表の記載のとおりでございます。③の人事評価制度の導入につきましては、現在試行で実施しておりますが、本格実施がいつとなってくるかということで、政権交代もなされましたので、平成25年度にこの本格実施に向けての動きがあるものと予想をしております。

以上が主立った実施計画の進捗状況でございますが、あわせて今後のスケジュールも説明をさせていただきたいと思っております。次ページ、ごらんいただきたいと思います。今回平成23年度の進捗状況の報告がおくれてしまいました。広報3月号、それとホームページにはこの後掲載をしております。それで、今回の反省を踏まえて平成24年度の進捗状況の報告につきましても公表につきましては、夏ごろまでに公表できるように取り組んでまいりたいと思っております。

以上、報告を終わります。

○副委員長（山田 勇） ただいま説明のありましたこの件につきまして質疑をお願いします。

○委員（小泉勇一） 去年たしか報告があったと思うのですけれども、幼稚園の廃園と、それから保育所のあり方について去年からパブリックコメントを実施して、もう終わったと思うのですけれども、何件の市民意見があったのかと、それからどういうものが主にあったのか教えていただきたいと思います。

○総務課長（椎名保彦） お答えいたします。

確かにパブリックコメントをやったのですが、その後の状況というのをちょっと把握しておりませんので、今定かなお答えはできませんので、大変申しわけございません。

○委員（犬塚貴敬） コミュニティセンター運営管理の見直しのことで1つ聞きたいのですけれども、前回配られていたもので効果・目標の中に目標数値というのが示されていて、今ちょっと聞き損じていたら申しわけないのですけれども、そういう目標数値のほうの結果はどうなったのかなということをお聞きしたいと思います。前回の委託料が今回コミュニティセンターに変更になったということで24年までになっていたのですけれども、こっこのやつで今回変更があって26年までになっていて、今この目標数値を掲げているやつでその結果がどうなったのかなというのが聞きたいのですけれども、ちょっともし質問が変だったら済みません。

○総務部長（篠原弘明） ちょっと具体の数字ははじいてこなかったのですが、表、26ページに結果として人件費の関係が載ってございまして、実は黄金と長和、有珠、これについては大幅な削減をしております、結果としまして。ですから、目標はクリアされているのですけれども、これにつきましては計画策定のときにお話ししましたとおり、管理人のいる時間を今まで9時から夜のあたる程度の時間まで、長ければ夜の9時までというようなことだったと思うのですけれども、常駐する時間を1時から5時というふうに決めて、それ以外は事前に連絡のあった時間に管理人が来るというような流れをとりましたので、大幅にここは削減されております。東地区の公民館だけは大体常時使われているということですので、ここだけはフルで管理人がいるので状況は違いますけれども、ほかの3つのコミセンについてはかなりの金額でもって減額が可能になったという状況でございます。

以上でございます。

○委員（犬塚貴敬） 実際目標数値が定められていて、期間が26年までに延びたのですけれども、これに対しての新しい数値というのは特にはないということですか。

○総務部長（篠原弘明） お答えいたします。

今回目標数値は書いてございません。実はいろいろやっていく中で課題もちょっと出てきました。今お話ししました管理人の常駐している間はいいのですけれども、管理人のいない時間の予約制、これがいま一度検討する必要があるということもございまして、あわせて今後、今は指定管理者のほうに委ねているのですけれども、ほかにここを含めた管理の仕方がないのかどうか、いろいろ多方面からの検討もしてみたいというようなこともございまして、その検討の時期をちょっと延ばしたというようなことでございます。

以上でございます。

○委員（犬塚貴敬） そうなってくると、取り組み状況で常駐時間を統一するところまでは終わっ

て、また新しいものが出てきて、そして今後また新しくその目標なんかが出てくるということによろしいですか。

○総務部長（篠原弘明） 基本的にはそのようなことです。今なかなかコミセンの管理が今申しましたように東地区についてはある程度安定した状態になっているのですが、そのほかの施設については今後も地域の皆さんと管理の仕方をまた改めてちょっと協議をしながら進めていきたいというようなことでございます。

以上でございます。

○委員（小泉勇一） 午後から産民の委員会で所管事務の調査があることなのですが、物産館の管理方法の検討というのがこの中にあるのですが、この物産館は恐らく当初の目標よりはかなり売上げが多いと。したがって、手数料も多いことだろうと思います。これは、たしか5年契約の指定管理だと思います。当初の計画をこういうふうを上回って、手数料も余計入るということは非常にいいことだと思うのですが、当初2億ぐらいの計画の中で始まったはずですから、たしか大幅に差が出ていると思うのです。そうしますと、これについてはどのような考えで今後進められる予定ですか、お尋ねしたいと思います。

○総務課長（椎名保彦） お答えいたします。

これは、あくまでも23年度の進捗状況でございますので、実際に新物産館の売上げの波及といえますか、効果が出てくるのは24年度の実績報告で報告できるのかなと思っておりますけれども、当初は売上げを2億というふうになっておりますけれども、この売上げが当然伸びれば指定管理料といえますか、委託料の削減というふうにつながるというふうに思っております。

以上です。

○副委員長（山田 勇） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（山田 勇） ないものと認め、質疑を終わります。

以上で所管事務調査は終わりました。

お諮りいたします。調査結果報告書の案文については、委員長に一任願いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（山田 勇） 異議ないものと認め、そのように決定いたしました。

以上で総務文教常任委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでございました。

◎ 閉 会 の 宣 告 （午前10時18分）